

# かみ

議会だより

令和元年

9月定例会

第59号



トップは  
渡さんぞ!!

(射添小学校 運動会)

## — CONTENTS —

■ 30年度 決算認定	2～4
■ 補正予算	5
■ 条例制定・改正	6
■ 請願・意見書	7
■ 町政を問う（12人が一般質問）	8～13
■ 委員会報告	15
■ この人ここにあり	16

# 歳出決算認定!

整基金+減債基金)(昨年度比8,027万円増)り0.3ポイント上昇)

平成30年度香美町一般会計及び7特別会計決算の認定は、決算特別委員会(上田勝幸委員長)に付託され、5日間の審査を経て「原案認定」と決定しました。9月27日の最終日、委員長から委員会での審査報告があり、採決の結果、一般会計、特別会計とも認定しました。

一般会計 歳入総額150億7824万円 歳出総額145億3511万円 差引残額5億4313万円でした。

特別会計 歳入総額50億5207万円 歳出総額49億4954万円 差引残額1億253万円でした。

## 一般会計

### 反対討論

谷口 眞治議員

一般財源として使える財政調整基金等を約67億円ため込んでいるが、町が抱えている課題解決のために使うべきだ。

矢田川等の環境保全対策や正規職員不足を放置していること等も問題である。

### 賛成討論

西谷 尚議員

前年度の実質収支額を引いた単年度収支額は1億7万円の黒字であり実質公債費比率も問題なく将来負担比率も77・3%で14・3ポイント改善している。第2次総合計画等に則った予算執行が行われている。

## 特別会計

### 国民健康保険事業

### 反対討論

山本 賢司議員

県一本化の初年度だが決算積み立てを含め、国保の財政調整基金は1億6700万円の保有額となっている。

税の取り過ぎであり、国税の負担増が透けて見え認められない。

### 賛成討論

藤井 昌彦議員

県が責任主体となり、安定化させるための取り組みがスタートし、町は検診や保健指導、重症化予防や健康増進に力を注ぎ、成果も見られ、安定した財政運営がなされていると判断する。

## 後期高齢者医療保険事業

### 反対討論

山本 賢司議員

本年度より被扶養者の保険料負担が1割から5割負担となった。今後、医療の窓口負担の1割を2割にという議論もあり高齢者の暮らしを押しつぶしてしまう本事業は廃止すべきである。

### 賛成討論

田野 公大議員

高齢者の医療を国民が皆で支え合う医療制度であり、制度改正により保険料は増額されたが、軽減範囲が拡大され軽減対象者も増えている。予算執行に必要な経費である。

## 介護保険事業

### 賛成討論

岸本 正人議員

法で3年ごとの見直しが行われ、本年度は第7期介護保険事業計画の最終年であり、差引残額は基金に積み立て、以降の歳出超過に備えるもの

## 特別会計決算状況

※ 差引残高は四捨五入の関係などで合わないことがあります。

区分	歳入総額	歳出総額	差引残高
国民健康保険事業(事業勘定+各診療施設)	23億9,110万円	23億2,412万円	6,698万円
後期高齢者医療保険事業	2億9,964万円	2億9,450万円	515万円
介護保険事業	23億692万円	22億7,778万円	2,914万円
財産区	166万円	40万円	126万円
町立地方卸売市場事業	67万円	67万円	0
国民宿舎事業	2,040万円	2,040万円	0
矢田川憩いの村事業	3,166万円	3,166万円	0
合計	50億5,207万円	49億4,954万円	1億253万円

であり、住民への介護サービス提供の機会を増やしながら、適正な会計運営ができた結果である。

## 主な質疑

### 総務課

問 ふるさと納税の件数と金額、増えた要因は

答 5833件、1億3552万1千円。昨年の2倍となった要因は、東京をターゲットに新聞に特集を掲載し東京からの申し込みが増加、香美ネットのふるさとチョイスに香美特集を載せる等のPR効果だと思えます。

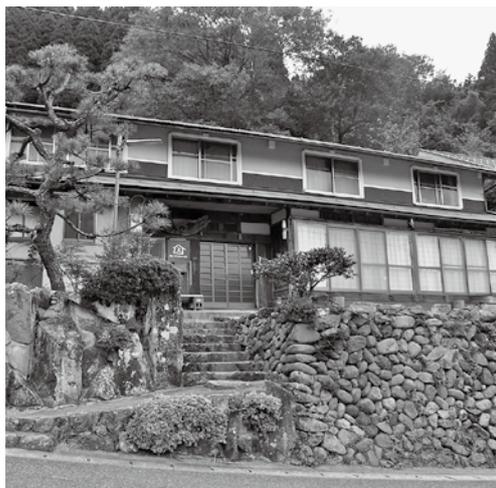
### 財政課

問 財政収支見通しは

答 現時点で繰り上げ償還の予定はなく、大幅な基金の増減は見込んでいませんが、災害など不測の事態や次期総合戦略の施策に基づく財源など、安定した財政運営をするためには基金の確保は重要です。

# 平成30年度 歳入

町の貯金 45億8,409万円(財政調  
実質公債費比率 9.5%(前年度よ



スミノヤゲストハウス

## 防災安全課

問 常備消防力は基準に比べてどうか

答 消防車両については、救助工作車1台が不足していますが、他の車両は基準を満たしています。しかし、人員の基準は98人に対し、現有では77人となっています。

## 企画課

問 移住体験施設の開設と設置場所は

答 (1)小代区貫田で、空き家を賃貸し、ゲストハウスを開設。(2)名称は、「スミノヤゲストハウス」で、地域住民との連携で地域との交流を体感して

もらい、香美町ファンを作っていくことを目標にしています。

## 町民課

問 消費者センターで扱った相談件数と内容は

答 相談は、104件で前年度より10件増加。ハガキによる架空請求、貴金属、健康食品等の取引が多く、メールによる架空請求等、インターネットに関する相談が増えています。未然防止のため、今年度から一人暮らしの高齢者への自動通話録音機の購入補助を始めています。

## 健康課

問 健幸ポイント事業の年代別参加者は

答 18歳以上の町民を対象に実施した健幸ポイント事業には、18歳から最高93歳までの490人の参加がありました。60歳以上が全体の8割を占めていて、7割が女性の参加者でした。

## 福祉課

問 避難行動要支援者台帳システムの整備は

答 社協と地域で進めていた「ささえあい要援護者台帳」に掲載されている方だけでなく、「避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例」の基準に該当する方を含め、毎年各情報をマツチングし、名簿情報の台帳を整備します。

## 農林水産課

問 魚のまち再興構想策定の構想とは

答 日本海側随一の漁港として栄えた賑わいを復活させ、漁業、水産加工業の再興と町全体の活性化を図る構想です。

「香美町の水産を考える会」で検討され、報告書が取りまとめられています。

高度衛生管理型荷捌所(しほばせしよ)の整備や賑わいと情報発信拠点の創出等が、示されています。

## 観光商工課

問 6次産業推進内容は

答 平成30年度は2件の申請がありましたが、事業の取り下げにより1件となり、香住区の梨加工品事業への補助を実施しました。

規格外の梨を活用し、梨のカット冷凍、ペースト冷凍、フリーズドライ加工試作を行っています。

## 上下水道課

問 矢田川クリーンセンター跡地の地元との交渉経過は

答 平成30年の地権者説明会や臨時総会で地元区長に説明をし、31年に地元区長を中心に交渉し、跡地について町の方針(舗装・立入禁止)にご了解を頂き、用地買収も前向きに検討頂いています。

## 建設課

問 危険ブロック塀撤去助成と申請件数は

答 道路通行者の安全確保のためブロック塀撤去費用の一部を助成。個人住宅1件9万円助成しました。

## 教育総務課

問 下宿費補助の差は

答 香住高の新若潮寮に女子も入寮、年度途中に補助対象外となったもので、村岡高共に同額補助しました。

## 子ども教育課

問 不登校児童生徒数と対策は

答 12人ですが中学生が多く、香住・村岡の2か所に適応教室(ふれあいルーム)を開設して対応しました。

## 生涯学習課

問 オリンピックの招致活動最終リミットは

答 出場権をかけた大会で敗れ招致は厳しいが、フランスアーチエリー連盟へのアプローチは今年の11月末を期限とします。

**総括質疑**

**問** 就職氷河期の社会人採用は

**町長** 地方公務員としての研修や指導が必要であり、社会人経験を有しても即戦力にはならないと考えています。

新卒に近い職員を役場の中で育てていきたいと考えています。

**問** 力を入れる農業振興

**施策とは**

**町長** 耕作者の高齢化や後継者不足で農地の保全維持が難しくなる中、中山間地等直接支払い、多面的機能支払い、環境保全型農業直接支払いを利用して、後継者を育成し小規模、兼業農家が営農継続できるようにします。また、人農地プランを作成し農地の維持保全を図り、農地中間管理機構による農地の集積、集約を進め、耕作者（借り手）や地域に補助する町単独「農地集積集約促進事業」を進めています。



守れ農地！ 育てよ耕作者！！

**問** 畜産振興、肉用雌牛保留対策で5500万円

**町長** 無担保無保証になると、延滞したとき回収に支障をきたします。

また、保証協会の保証料援助には毎年、多額の費用がかかり、朝来市ではこの制度を廃止したようです。

今のところ町としては、

無利子貸付支援の基金創設は、費用が多額になること、金融機関の有利条件があり考えていません。無担保無保証の商工会のマルケイ融資等の現行制度を活用して頂きたいと考えています。

※マルケイ融資  
2000万円限度  
設備10年、運転資金7年  
金利1・1%

**平成30年度**

**公立香住病院・水道・下水道会計決算を認定！！**

6月定例会で提案された公立香住病院企業会計決算は、総務民生常任委員会に、また水道・下水道事業企業会計決算は、産業建設文教常任委員会に審査を付託していました。9月定例会で各常任委員会から、審査の経過と結果について報告を受け、いずれも全員賛成で原案を認定しました。

**公立香住病院事業企業会計**

**質疑**

**問** 地域包括ケア病床の利用実績と効果

**答** 8床で年間患者総数2364人、病床利用率81・0%、8000万円の収益となり、一般病床想定収益5200万円より2800万円、リハビリ

**水道事業企業会計**

**質疑**

**問** 令和2年から水道料金を値上げするのか  
**答** 平成29、30年度の料金収入が経営戦略より上回ったため、値上げ時期

**下水道事業企業会計**

**質疑**

**問** 少子高齢化が著しい中、接続率は今後どうなる  
**答** 接続率は横ばい程度と見ていますが、自主財源が減少していきま。従って、下水道事業資本費平準化債発行の継続による企業債元金償還金財源、一般会計繰入金金の確保等「香美町下水道事業経営戦略」に基づき、現金収支の均衡を図り、運営に必要な財源を確保していききたいと考えています。



守れ地域医療

消費増税にともなう子育て支援金 **729万円**

急傾斜地対策費 **850万円**

公共施設等管理基金積立 **2億円** 他

9月定例会には、一般会計と5特別会計の補正予算が提案され、いずれも可決しました。主な質疑は次のとおりです。

一般会計補正予算

問 防犯カメラの設置場所はどこに

答 香住区3か所、村岡区1か所、小代区1か所の合計5か所です。

問 地域再生協働員とは

答 国がすすめている地域おこし協力隊の兵庫県版的な制度です。国の制度では、できない事業をするものです。

できれば、10月より県と調整して進める予定です。

問 急傾斜地対策事業はどこですのか

答 香住区余部・鏝、村岡区日影・高井の4か所です。

問 町道改良設計委託料の500万円はどこ

答 町道黒田線の国道9号線から、和池へ向かう町道の部分です。



完成が待たれる急傾斜地工事

反対討論 山本 賢司議員

二つの問題点を上げて反対する。

一、公共施設等管理基金を2億円も積み立てる

必要はない。今、積み立てしなくても間に合う。特定積み立てにしてはだめだ、塩漬けにしてしまう。

二、雑入副食費62万円の負担は、柴山保育所に求めるもので、子育て対策に逆行している。



更新予定のゴミ収集車

契約

村岡区のゴミ収集のための塵芥収集車二台購入

【契約の内容】

- 《契約目的》  
塵芥収集車の購入
- 《契約の方法》  
指名競争入札
- 《契約金額》  
金11,085,886円
- 《契約の相手方》  
兵庫県美方郡香美町村岡区  
入江1126番地  
株式会社 岡本自動車

# 条例制定・改正

9月定例会において、新たな条例制定2件、一部改正7件、廃止1件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

## 香美町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

地方公務員の臨時・非常勤職員について、特別職の任用及び臨時的任用の適正を確保し、並びに一般職の会計年度任用職員の任用等に関する制度の明確化と会計年度任用職員に対する給付について規定

職員組合等との話し合いはできているのか

答 10月頃から再度、各課長等とのヒアリングを経て、臨時・嘱託職員への説明会を行う予定です。職員組合とは昨年度から交渉しており、本条例案についても8月には理解を得ました。

## 討論

### 反対討論

谷口 眞治議員

本制度契機として、現行フルタイムで任用しているものをパートタイムに変更するなど、財政上の制約を理由として、合理的な理由なく勤務時間を短くすることは、法改正の主旨に合わない。

## 質疑

問 正規職員と会計年度任用職員の職務違いは

答 正規職員は組織の管理・運営自体に関する業務や、財産の差押え、許認可等の権力的業務に従事しますが、会計年度任用職員はこれらに従事しません。

問 該当職員への説明や、

## 保育料無償化に関連する条例改正

香美町子どもための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例改正

幼稚園・認定こども園

(教育) 3歳以上児の利用者負担無料、保育所・認定こども園(保育)・地域型保育3歳以上児無料、同3歳児未満の非課税世帯等無料を規定

## 討論

ますが、その点についても了解を得ており、場合によっては相談頂くように伝えております。

### 反対討論

山本 賢司議員

副食費を無償化対象から外し、かつ保育の基本単価を下げることは事業者の収入が減り、副食費の実費徴収により負担増となる。

これらのことは、子育て支援に反する。

## その他の条例

- 香美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例改正
- 改正の主なものとして利用者負担額の受領に関すること及び副食費実費徴収への変更などを規定
- 香美町会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例制定
- 印鑑条例の改正
- 災害弔慰金の支給等に関する条例改正
- 小代南部健康高原専用水道条例の改正
- 水道事業給水条例の改正
- 保育の必要性の認定に関する条例改正
- 香美町立幼稚園保育料徴収条例廃止

## 質疑

問 副食費が別途実費徴収に変われば、事業者の負担が増えるのでは

答 徴収事務がいくらか増えることになると考え

# 人事

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。

## 人権擁護委員



香住区境  
今井 好文 さん  
(新規)



村岡区村岡  
太田しづ子 さん  
(再任)

(任期：令和2年1月1日から3年間)

# 容認できない!! 「香住・村岡警部派出所」廃止

(「警察署再編整備計画」に関する意見書)

請願・  
意見書

**意見書**

\*\*\*\*\*  
警察署再編整備計画に  
関する意見書  
\*\*\*\*\*

議員発議の請願1件、意見書3件を所管常任委員会の審議に付した結果、委員長報告は「採択」、本会議においても全員賛成で「採択」とし、関係機関に意見書を提出することとしました。

提出者  
総務民生常任委員会  
委員長 東垣典雄

**意見書の趣旨**

警察本部長の諮問機関「次世代に向けた兵庫県警察の組織の在り方を考える懇話会」の答申に沿った警察署再編整備計画が策定されたが、香美町内の香住・村岡警部派出所の廃止が計画されており、常備配備の警察官がいなくなると犯罪の抑止力の低下と甚大な治安悪化を招き、特に海岸部を有する香住地域の不審者に対する沿岸警備の不安が増幅するので、「香住警部派出所」を「美方警察署香美分庁舎」として存続することを求める。



村岡警部派出所



香住警部派出所

**請願**

\*\*\*\*\*  
教職員定数改善と義務  
教育費国庫負担制度2  
分の1復元を図るため  
の2020年度政府予  
算に係る意見書採択の  
要請について  
\*\*\*\*\*

**請願者**

美方郡教職員組合  
執行委員長 朝野暢一  
紹介議員 東垣典雄

**請願の趣旨**

- 子どもたちの教育環境改善のため、30人以下学級とすること。
- 義務教育費国庫負担割合を2分の1に復元すること。

**意見書**

\*\*\*\*\*  
教職員定数改善と義務  
教育費国庫負担制度2分の  
1復元に関する意見書  
\*\*\*\*\*

**提出者**

産業建設文教常任委員会  
委員長 西谷 尚

**意見書の趣旨**

- 子どもたちの教育環境改善のために、計画的に少人数学級を推進すること。  
具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 教員免許更新制度は、改善が必要。
- 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担度の堅持とともに、国庫負担割合を2分の1に復元すること。



英語教育の授業風景

**意見書**

\*\*\*\*\*  
災害ボランティア活動  
に対する支援制度の構  
築を求める意見書  
\*\*\*\*\*

**提出者**

総務民生常任委員会  
委員長 東垣典雄

**意見書の趣旨**

大規模な被害が予測される災害において、多くのボランティアが必要となり、全国のかつ長期的支援に頼る必要がある。多くのボランティアの参画に向けたボランティア活動に対する支援制度を実現するとともに、全国的基金の創設など災害ボランティアを社会全体で支えるしくみを構築すよう強く要望する。

**香美町議会議員の辞職**

寺川秀志議員より  
議事に辞職願が提出  
され、許可しました。  
なお、森利秋議員  
は、7月に逝去され  
ました。

# 町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月11日と12日に12人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

6 基金運用状況  
各基金の増減状況は、第23表のとおりである。  
第23表 各基金の増減状況 (単位：千円)

基金名	区分	前年度末		当該年度		決算年度末	
		現在高	積立金	取崩	現在高		
財政調整基金		3,367,131	371,969	61,637	3,677,454		
減債基金		1,136,693	247,587	477,605	906,645		
地域振興基金		1,665,856	9,944	7,009	1,668,791		
その他特定目的基金		345,812	291,224	120,420	516,616		
温泉地域開発基金		43,061	5,703	2,918	46,446		
ふるさとづくり基金		67,115	135,521	67,115	135,521		
公共施設等管理基金		235,036	150,000	50,387	334,649		
小計		6,515,492	920,685	666,671	6,769,506		

多額の基金・今使わなきゃいつ使う



新型機、機体にコウノトリが描かれています

合併時に7億円、8億円必要と議論された財政調整基金は昨年度決算で



見塚 修 議員

## 基金を取り崩し積極的な施策の展開を!! 人口減少対策を実行します

36億円、その他の基金を合わせた総額は67億円にも達している。

若者の都会流出等による人口減少、帰りたくても働き場所がない等、まさに閉塞感が。「このままではまちが消滅してしまふ」(町民の声)

今こそ基金を取り崩し、

町長 本町の最重要課題が人口減少であること

第一次産業振興(ハウス園芸、但馬牛)等で働き場の創出のための積極的施策の展開が必要ではないか。又、施策立案にあたる職員の視察研修の場も必要ではないか

又、施策に通ずる研修の仕組みは検討します。

から、Uターン者の確保のため働く場所の拡大、若者世代の町内定着の促進の実現に向け、次期総合戦略の施策で優先的に実行し、若者や子育て世代に魅力ある持続可能なまちづくりと、活力ある地域社会の構築を目指します。



東垣 典雄 議員

## 東京直行便の実現に向けた取り組みを 現状の支援でPR活動に努めます

但馬空港が開港25周年を迎えた。

昨年48人乗りの新型機が就航、搭乗率70%近くになり「東京直行便」の実現に向けた取り組みを問う。

- ①「東京直行便」の実現に向けた取り組みは
- ②北近畿の空港として観光への取り組みは
- ③ふるさと納税の返礼品として航空券購入費用助成制度の活用をすべき

町長 空港の運営や推進については、兵庫県と但馬空港推進協議会が行っています。

- ①本年度4月から7月まで4ヶ月間も搭乗率70%

を維持している。新型機の快適さ、東京をはじめ全国各地へとつながる利便性、利用運賃助成制度の周知を図り、PR活動に取り組みます。②山陰海岸ジオパークの取り組みなど但馬空港を中心として府県の枠を超えて情報発信をします。③空港は豊岡市にあり、香美町の特産品とは言えません。返礼品に加えることは難しい現状です。



田んぼだらけの風景



空き家は荒廃、特定空き家へ

## 役場周辺の農業振興地域再考すべき 現況はまだその時機にきていない



上田 勝幸 議員

大抵の町が庁舎を中心  
起点として市街地が形成  
されていることを思う時

一面田畑だけの現状を見  
ると一抹の不安を覚える。  
当局は、庁舎を当地に  
持つてくるに当たって、  
住民に夢や希望を抱かせ  
る青写真を描いて臨んだ  
と思う。

今、町にとっても課題  
である山手開発、庁舎周  
辺と線・面で結ぶことが

必要ではないか。そのた  
めにも周辺の農振は外す  
ことを再検討すべき時機  
にきているのではないか

〔町長〕 質問の趣旨は理  
解できますが、庁舎周辺  
地域は有数の水田耕作が  
行われている優良な農地  
で、農振法に基づき総合

的に農業の振興を図るこ  
とが必要と認められる地  
域です。当局、農業委員  
会でも農振からの除外は  
検討していません。  
今後、様々な政策をも  
つても、役場周辺の活用  
以外、町の勢いは取り戻  
せない状況になれば、地  
元の商工業者に対する影  
響など考慮しながら考え  
る問題だと思えます。

## 特定空き家の対策を急げ 除却支援制度を創設します



西坂 秀美 議員

空き家対策は今回で4  
回目の質問になる。対策  
は目に見えないが空き家、  
特定空き家の荒廃はどん  
どん進行し住民生活に影  
響を及ぼしている。昨年  
の9月議会で危険空き家

の対策を急ぐべきとの質  
問に、指導や勧告等をす  
るには特定空き家として  
の認定が必要で町では景  
観、生活環境保全地域等  
の基準を作成し空き家対  
策協議会で審議して、決  
定するので時間を要する  
との答弁であった。その  
後の進行状況を問う

〔町長〕 勧告措置を行う  
ためには特定空き家等に  
認定し、勧告、命令、代

執行の手続きをとること  
となります。本年2月の  
協議会で認定するために  
住宅の不良度、衛生面、  
景観面、生活環境面の基  
準を審議いただきました。  
住宅の不良度の判定基  
準をもう少し細分化すべ  
きとのご意見でしたので、  
10月開催予定の協議会で  
修正案を承認いただく予  
定にしております。除却  
支援制度の創設等も含め、  
適正管理につとめます。



夢を育む子どもたち



もっと交流を!! フォークイベント (若桜町)

## 県境国道482号の活用は 地元が中心、町は側面支援



藤井 昌彦 議員

国道482号の香美町と鳥取県若桜町間が開通した。

道幅が狭く、カーブが多く見通しが悪く、通った方の評判は良くない。しかし、町唯一の県境国道で折角、県が約22億円かけて落石防止工事を行った地元の念願の道路である。鳥取県、若桜町との産業、観光文化交流を図るなど有効利用すべ

きである。道幅が狭小であることを逆手に取り、バイク、サイクリング、ウォーキングイベントを企画してはどうか

〔町長〕 若桜町での山フェスへの出展依頼や区長会も、夏、秋のイベント

に招待を受けました。こちらも99・9%トレッキングツアーを鳥取方面で募集する等、交流を図っています。

道が狭く安全面で課題がありますが、地元主体での企画があるなら、側面から支援します。

## 国の財政支出を子育て支援拡充へ 来年度に向け財源も見直す



山本 賢司 議員

今春から村岡区内の保育所は統合され、議会のために複式学級が論じられる。国は幼児教育・保育の無償化に消費税増税分を充てるというが、低所得者程、重い負担を強

いて低所得者対策を行うなどもつての外だ。決算で、自由に使える財源は少なくとも53億円。これを学校給食費、国保税のこども均等割軽減にと求めてきたが、国策だと言ふならば、最低限、保育料の中にあつた副食費4500円の負担軽減で、子育て支援拡充を求め

が貯まったものです。豊かな財源と言われるが、一人当たりの借金残高は県下で一番多く気がかりで、将来世代に負担を残さないのが財政の基本です。何もしていいと言われるが、一人当たりの支出は県下で一番多いこともみてほしいです。国に先んじて負担軽減してきた保育料を国が無償化するので、来年度財源を含めて見直します。



小代地域住民の生活を支えてきた小代地域局



楽しいプログラミング！



西谷 尚 議員

支障は無く、順調に進んでいる！しかし、順調に進む中で、私が一つ懸

## 懸念！小代地域局新庁舎建設 権能を行使して事業展開を図ります

念する事がある。それは、私が聞くところによると鉄筋コンクリート造りに関して余り経験がないように聞いていたが、町は大丈夫と考えているのか。私が家を建てるにしても、経験のない設計士や建設業者に発注することはない。入札制度に問題

があるとは思わないが、余りにも安易ではなかったのか。今後のチェック体制も含め町長に問う

**町長** ご指摘のように経験が浅いことについての不安は、当局も持っています。

今後の事業展開の中で

指導できる部分があれば指導し、小代地域局は、しっかりしたものを作るのが目的でございますので、一つ一つ確認をしながら、住民の皆様には不安を仰がないよう事業の進捗に向けての対応を強化してまいりたいと思います。



徳田喜代子 議員

## プログラミング教育の円滑な実施を 創意工夫して授業を展開します

学習指導要領の改訂に伴い、小学校のプログラミング教育が来年度に必修化される。算数や理科等さまざまな教科の中でプログラミング的思考、論理的に考えていく力を

身に付けさせる学習を行うために、教師の研修や教材研修等の準備が進んでいると考えるが、①町内各小学校のプログラミング教育の進め方②小学校のICT環境の整備について伺う

が効果的な指導方法を学ぶ研修に参加し、持ち帰って全ての教師が研修を行う等、情報教育担当教師を中心に準備を進めています。文科省の指導事例を参考に創意工夫して授業を展開します。②全てのパソコンに専用ソフトをインストールしています。パソコン台数は県下5位で基準はクリアされていて、ICT環境は高い水準にあります。



町の将来をささえる子どもたち



どうする火災残さ



岸本 正人 議員

学校統廃合問題を再度質問する。  
町予想で令和7年度に

## 統廃合に関する審議会の設置を!! 各教育環境会議で議論すべきです

は、奥佐津小学校は全校生11名で、1年生1名で単式、2・4年、5・6年生複式。佐津小は全22名で、全複式。柴山小は全40名で、3・4年生複式。長井小は全27名で、3・4年生複式。余部小は全11名で、全複式。射添小は全34名で、3・4

**教育長** 各校の学校版教育環境会議を充実させなければいけません。統廃

合もしつかりご意見を頂き、確かなアンケートができる形で進めるべきと各学校長にお願いし充実を図ってきました。  
今はこのままで進め、幼稚園を含めてご意見を頂きます。昨年度は5年間の児童・生徒数もお示しました。今後ともこの様な形で会議を進めていきたいと思います。



谷口 眞治 議員

6月13日に香住区若松地区で大火災が発生したが、被災者支援に全力を尽くすとともに、大火災の対応を検証して、今後の教訓を得ることが求められている。

町長 被災状況は、住宅3棟、倉庫5棟、加工場4棟他合わせて16棟、類焼面積は2600㎡で被災世帯は8世帯です。対策本部を町は設置せず、被災者の要望にこたえて被災家屋の撤去作業はほぼ終了しました。支援策は、撤去期間中の作業ヤードの町道提供と通行止めの交通整理員

の経費を負担しました。住宅の確保は、町営住宅を準備しましたが、希望がなく、義援金は議論せず、見舞金は検討しましたが見送りました。焼却家屋の固定資産税減免や住宅用地特例はします。事業や住宅再建の公的支援は、自然災害ではないので、国・県の支援がなく、町単独で行うことは難しいです。11月には火災予防訓練を行います。

## 大火災の被災者支援に全力を尽くせ! 町単独の支援は難しいです

町長の所見を問う



情勢を見据えた見直しを!!

香美町総合戦略も前期5年の最終年となっている。これまでの取り組みの評価と検証の状況はどうなっているか。また、今年度を含め今後特に取り組むべき内容を



田野 公大 議員

町長 担当課による具体的な事業評価を行い、達成状況と進捗状況を確認し、それらをもとに外部評価組織である総合計画審議会における評価と検証を行いました。

結果はおおむね順調であり、全体的に現在の取り組みを進めるべきだが、KPIの見直しの検討が必要であるとの評価で、

数値目標の半数程度は達成が可能な状況です。本町の最重要課題が人口減少であることを踏まえ、若者の転出超過への対応が喫緊の課題であると認識し、Uターン者確保、移住定住対策のさらなる推進、働く場の確保拡大により、若者の町内回帰、町内定着の促進に重点的に進める必要があると考えています。

## 総合戦略の評価と取り組むべき課題は若者定着が課題です

の検討は



障害者の方の避難訓練



西谷 高弘 議員

災害発生時の障害者の方への対応は、緊急放送が確実に伝わっているか。

安全に避難出来る体制にあるか。また、障害者のための防災支援マニュアル自体が実際に理解され活用されているのか。マニュアルの中に緊急会話の用紙を切って使うようにとあるが、聴覚障害者の方には意思表示が出来る非常にいいと思う。

改めて、点字も加え方ード化し、無料配布してもいいのではないかと

町長 確かに緊急情報を伝達するため、防災行政無線以外に複数の手段によって緊急情報を確認出来る仕組みを用意しており、避難に際しては支

## 災害発生時の障害者の対応は新しく構築し協議を進めます

援が必要と思われる方の情報を地域に提供させていただき毎年、実施協力をお願いしております。支援マニュアルは、障害者地域自立支援協議会と福祉課との協議の中で、現行に沿ったものを町民や障害者の皆さんに理解していただけるような新しいものを構築していくための協議を進めます。

# 一般質問 その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目	質問議員	質問項目
見塚 修	このまちに住むことに誇りをもち、より豊かな住みよいまちづくりを求めて (Part10) [教育編] ・山の日の新たな取組について伺う [教育編] ・香住区内の銅像の保存・活用について伺う	西谷 尚	・香美町設備導入支援事業について問う
		谷口 眞治	・加齢性難聴者の補聴器購入助成について問う ・再び「会計年度任用職員制度」を問う
西坂 秀美	・産業振興について	岸本 正人	・福祉職業等紹介所の運営について問う ・美方広域火葬場と香住火葬場の今後のあり方について問う
藤井 昌彦	・集落内道路整備について		
山本 賢司	・子育て支援の拡充を！	西谷 高弘	・子ども、子育て支援事業について問う ・町道の安全について問う
徳田喜代子	防災・減災の推進で香美町の安心安全を ・水防対策について 防災・減災の推進で香美町の安心安全を ・防火対策について	田野 公大	・香美町総合戦略新しいコミュニティづくりの進捗状況について

## 議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ表示しています。

議案名		議員名													
		東垣 典雄	谷口 眞治	上田 勝幸	寺川 秀志	西谷 尚	見塚 修	田野 公大	岸本 正人	山本 賢司	西坂 秀美	西谷 高弘	藤井 昌彦	徳田喜代子	西川 誠一
議案第70号	美方郡広域事務組合規約の変更について（修正動議）		×	欠	×	×	×		×	×	×				—
議案第70号	美方郡広域事務組合規約の変更について	×	×	欠		×			×					×	—
議案第71号	美方郡広域事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に関する協議について		×	欠					×						—
議案第74号	香美町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を定めることについて	×	×	欠					×						—
議案第75号	香美町会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例を定めることについて	×	×	欠					×						—
議案第82号	香美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて		×	欠					×						—
議案第84号	平成30年度香美町一般会計歳入歳出決算の認定について		×	欠					×						—
議案第85号	平成30年度香美町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		×	欠					×						—
議案第86号	平成30年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		×	欠					×						—
議案第87号	平成30年度香美町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		×	欠					×						—
議案第92号	令和元年度香美町一般会計補正予算（第4号）		×	欠					×						—

空白…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わりませんので「-」で表示していますが、可否同数で議長採決となった場合には、空白または×で表示しています。

# 平成30年度 政務活動費を報告します

香美町議会では、会派が実施する調査研究等に必要経費の一部を政務活動費として交付しています。この政務活動費は、条例に基づき、議員1人当たり月額5千円が会派に対し支払われます。平成30年度は8つの会派が政務活動費の交付を受けて活動しましたので、その収支について報告します。

## 政務活動費収支一覧表

会派名	日本共産党香美町議員団		人数	2人	
所属議員	山本 賢司、谷口 眞治				
交付額(a)	120,000円				
支出額内訳					
調査研究費		資料購入費	44,518円		
研修費		事務費	3,560円		
広報・公聴費	38,856円	人件費			
要請陳情等活動費	7,970円				
会議費		支出額合計(b)	94,904円		
資料作成費		町への返還額(a)-(b)	25,096円		
政務活動費を使った主な活動					
要請陳情：「新温泉風力発電事業計画に関する要請書」を兵庫県に提出 広報：議員団報告「風力発電を考える」を作成し、新聞折込みに 資料購入：活動のために必要な図書、資料等を購入					
会派名	清流会		人数	3人	
所属議員	西谷 尚、藤井 昌彦、橘 秀太郎 (H30.4～H31.1月)				
交付額(a)	170,000円				
支出額内訳					
調査研究費		資料購入費	2,916円		
研修費	57,289円	事務費			
広報・公聴費		人件費			
要請陳情等活動費					
会議費	9,000円	支出額合計(b)	69,205円		
資料作成費		町への返還額(a)-(b)	100,795円		
政務活動費を使った主な活動					
研修：10/19～10/20徳島県那賀町を視察研修 「議会活性化の取り組み（ICTの利活用）」「ドローンの取り組み」「自治体の福祉」について研修 会議費：会場使用料 資料購入：活動のために必要な図書等を購入					
会派名	新風会		人数	3人	
所属議員	見塚 修、西坂 秀美、上田 勝幸				
交付額(a)	180,000円				
支出額内訳					
調査研究費	182,339円	資料購入費			
研修費		事務費			
広報・公聴費		人件費			
要請陳情等活動費					
会議費		支出額合計(b)	182,339円		
資料作成費		町への返還額(a)-(b)	0円		
政務活動費を使った主な活動					
調査：7/26～7/27 豊岡市、鳥取市、日吉津村にて、「地域活性化の取り組み」「きのこ栽培」「身障者事業所との関わり」について調査 11/5 多可町、神河町、3/10 豊岡市にて地域資源マネジメントの在り方について研修					
会派名	香美町公明党		人数	1人	
所属議員	西谷 高弘				
交付額(a)	60,000円				
支出額内訳					
調査研究費	76,409円	資料購入費			
研修費	5,000円	事務費			
広報・公聴費		人件費			
要請陳情等活動費					
会議費		支出額合計(b)	81,409円		
資料作成費		町への返還額(a)-(b)	0円		
政務活動費を使った主な活動					
調査：5/18 かすみジオカヤッククラブについて 6/8 京丹後市丹後町：遊覧船とび丸タクシーについて 7/25 国土交通省：海上タクシー運営事業の届出について 9/3～9/4 滋賀県竜王町：但馬牛と近江牛の関係と畜産振興について 11/12～11/13 山陰近畿自動車道整備促進決起大会に出席					
会派名	海山会		人数	4人	
所属議員	森 利秋、徳田 喜代子、西川 誠一、岸本 正人				
交付額(a)	240,000円				
支出額内訳					
調査研究費		資料購入費	20,259円		
研修費	116,777円	事務費			
広報・公聴費		人件費			
要請陳情等活動費					
会議費		支出額合計(b)	140,676円		
資料作成費	3,640円	町への返還額(a)-(b)	99,324円		
政務活動費を使った主な活動					
研修：2/8～2/9 洲本市：再生可能エネルギーについて 多可町：行列のできる巻き寿司で町おこしについて、視察研修 2/20～2/21 「シーフードショー大阪」「アグリフードEXPO大阪2019」国産にこだわった食について研修 毎議会、議案に対して問題点や課題等について協議 資料購入：活動のために必要な図書等を購入					
会派名	草莽の会		人数	1人	
所属議員	寺川 秀志				
交付額(a)	60,000円				
支出額内訳					
調査研究費	64,230円	資料購入費			
研修費		事務費			
広報・公聴費		人件費			
要請陳情等活動費					
会議費		支出額合計(b)	64,230円		
資料作成費		町への返還額(a)-(b)	0円		
政務活動費を使った主な活動					
調査：5/18 かすみジオカヤッククラブについて 6/8 京丹後市丹後町：遊覧船とび丸タクシーについて 7/25 国土交通省：海上タクシー運営事業の届出について 9/3～9/4 滋賀県竜王町：但馬牛と近江牛の関係と畜産振興について 11/12～11/13 山陰近畿自動車道整備促進決起大会に出席					
会派名	みらいの香美		人数	1人	
所属議員	東垣 典雄				
交付額(a)	60,000円				
支出額内訳					
調査研究費	20,141円	資料購入費	39,712円		
研修費	35,060円	事務費			
広報・公聴費		人件費			
要請陳情等活動費					
会議費		支出額合計(b)	94,913円		
資料作成費		町への返還額(a)-(b)	0円		
政務活動費を使った主な活動					
調査：9/3～9/4 滋賀県竜王町「但馬牛と近江牛の関係と畜産振興について」調査・研究 研修：7/25～7/26 市町村議会議員研修「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査」 1/17～1/18 市町村議会議員研修「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に」 資料購入：活動のために必要な図書等を購入					
会派名	香美創生研究会		人数	1人	
所属議員	田野 公大				
交付額(a)	60,000円				
支出額内訳					
調査研究費	54,268円	資料購入費			
研修費	26,140円	事務費			
広報・公聴費		人件費			
要請陳情等活動費					
会議費		支出額合計(b)	80,408円		
資料作成費		町への返還額(a)-(b)	0円		
政務活動費を使った主な活動					
調査：5/18 かすみジオカヤッククラブについて 6/8 京丹後市丹後町：遊覧船とび丸タクシーについて 7/25 国土交通省：海上タクシー運営事業の届出について 9/3～9/4 滋賀県竜王町：但馬牛と近江牛の関係と畜産振興について 11/12～11/13 山陰近畿自動車道整備促進決起大会に出席					

# いっしょにいきましょ

(香住区)

今回は町の広報を音訳し、CDを作成して視覚障害者の方にお届けする活動をしている「声の広報力ナリヤ」副代表の天川裕美さん(香住区)にお話を伺いました。



天川 裕美さん

**「活動はいつ頃からですか」**

カナリヤは、約35年前からあり、私は高校生の時に知りました。

一度都会に出て生活し、話す勉強をしました。将来は話す仕事をしてみたいと思っていました。帰省し働いている時、香住で行われたふれあい

コンサートを期に、視覚障害者の中島功さんを知り、様々な出会いがあり、カナリヤの活動を始めました。

**「会の活動は、どのようなことをされていますか」**

月に一回定例会があります。

広報原稿がゲラ刷りで届くので、それぞれ担当を決めて持ち帰り、各家庭でSDカードに録音したものを持ち寄り編集し、社会福祉協議会でCDに録音作成して、視覚障害者の方に届けます。

**「活動のなかで苦労があると思いますか」**

各家庭で音読し録音します。2時間から3時間以上はかかります。録音中に電話が鳴ったりすると、やり直しますので大変です。



また、文字はそのまま読みますが、写真やグラフ等の説明や表現をすることはとても難しいです。

**「心がけていることはありますか」**

視覚障害者の皆さんとにかく聞きやすいように、発音や滑舌や音読の早さと間の空け方にボランティアメンバー全員が心がけ、気持ちよく聞いていただけるように努力しています。

**「音読サークルは香住だけですか」**

村岡に「朗読サークルそよかせ」があります。

村岡では、社協だよりと議会だよりの音訳をしています。

音訳ボランティアの他にも保育園や特別養護老人ホームへ訪問し、絵本の読み聞かせ等もされています。

**「行政に支援を望むとしたら、何がありませんか」**

高齢者が多くなつて広報等も読めなくなつた人が増えています。視覚障害者以外で障害者手帳がない方も聞けるよう、聴き手を増やしてほしいです。

**「議会に一言お願いします」**

障害者の方が議会の傍



聴に参加しましたが、町で行う委員会になぜ障害者が参加できないのか、参加できるようにしてほしいです。

## 編集後記

この議会広報が発行される頃には、9月議会で議員辞職を許可したことに伴う公職選挙法に基づく3名の補欠選挙が終わっていると思います。

この補欠選挙は、町民の皆さんには、議会に対する関心度が試されることとなりますが、議員もその存在意義を自問する良い機会となります。

改めて「初心」に立ち返り、議員力にさらなる磨きをかけることが求められています。(T)

### 広報公聴常任委員会

委員長 徳田喜代子

副委員長 谷口 眞治

委員 田野 公大

岸本 正人

西坂 秀美

西谷 高弘

藤井 昌彦